

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

名 称	第17回 第4分科会議事録	場 所	新宿区役所第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成18年2月24日 午後6時30分～午後8時30分	記録者	学生補助員 山口洗輝、永井祐介
		区担当	企画政策課 熊澤

出席者：名

(区民委員：名 学識委員：2名 区職員：名 傍聴：0名)

■配布資料

- ・第17回第4分科会会議進行次第
- ・第16回第4分科会議事録
- ・中間発表会（第4分科会におけるアンケート結果）
- ・中高生環境会議から、区民会議への提案
- ・まち美化シンポジウムのチラシ

■進行内容

- 1 開会
- 2 本日の議事
 - (1) 中間発表会を終えて
 - (2) リーダー（世話人）の信任
 - (3) 第4分科会のすすめ方（6月まで9回程度）
 - ・班長会議の再確認
 - ・分科会の運営体制
 - ・今後検討すべき内容・方向性
 - ・スケジュール
 - (4) 中高生環境会議について（倉田委員）
- 3 連絡事項
 - (1) 次回以降の会議日程について
 - (2) 次回班長会議日程について
- 4 閉会

■会議内容

[発言者]●：区民委員 ◎：学識委員 ○：区職員

- （熊澤）：皆さん、こんばんは。中間発表会にご苦勞様でした。ありがとうございます。当日は、退席された方もいらっしゃいましたけれども、合計で400名を超える方にお越しいただいて、無事中間発表を終えることができましたと思います。では、中間発表会を終えて最初の分科会になりますが、第17回第4分科会を始めさせていただきたいと思います。いつものように進行を、小宮さんをお願いします。

●（小宮）：皆さん、こんばんは。少し雨が降って寒いですが、前回伺っていたお話よりはこの部屋が暖かくてよかったと思っています。お手元に資料が配られておりますが、本日の会議進行次第について、始めに中間発表で神野さんが発表して下さいましたが、もう一度ここで見ながら再確認したいと思います。会場での色々なご意見、各分科会とのやり取りがありました。それをまとめたものがお手元に渡っていると思いますが、資料の第4分科会第1部におけるアンケート結果と、第2部の各ブースに分かれてからの色々なご意見、そして区民会議全体に対するアンケート結果となっています。それらを参考にしながら、もう一度おさらいしていこうと思っています。それが、進行次第の一番始めの「中間発表を終えて」の内容です。ここに30分くらい時間をとりたいと思いますがよろしいでしょうか。

●（小宮）：よろしいですか。それでは、神野さん、よろしくお願ひします

●（神野）：私が代表として発表させてもらったわけですがけれども、前回の分科会ではきちんとできていなかったというのがよくわかりました。今日、これからもう一度皆さんと確認していくという意味で、発表させていただきます。

＜パワーポイント発表＞

●（小宮）：どうもありがとうございました。中間発表から何日も経っておりませんので、記憶に新しいと思いますが、再確認といひますか、私たちに何が足りなかったかなどを確認して頂きたいと思っています。お手元に意見集約がお配りしてありますが、事前には配付できなかったもので、この場で目を通して頂きたいと思っています。第2部の意見集約として記載されていますが、他の分科会と共通する部分が多いという意見が多かったように思ひます。最後のまとめにもありましたが、これからそのような重複する部分を検討しながら進めていきたいと思っています。この後、お手元の議題の(3)の2「第4分科会の進め方」です。6月まで後9回しかないという状況ですが、残った9回をどうしていくのか、いかに進めていくのかという話について、少し時間をかけて取り組んでいこうと思っています。10分くらい時間をとってから、皆さんと話を進めていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

それでは、すでに皆さんの頭に入っているようですが、今から15分まで、よろしくお願ひします。

●（中上）：中間発表では、6つの分科会それぞれが、配布資料をはじめ発表の仕方が統一されていない。まず、この（統一しない）ままでいくのかどうか。私は、区民会議という一つの舞台上、表現の仕方、発表の仕方が違うのはおかしいのではないかと思っています。基本的な発表の仕方を同じにすべきではないのかという気がします。それから、他の分科会を3つほど拝見したのですが、皆さん色々な経験をお持ちですので、それぞれに該当する分科会で積極的に意見を述べて一つの報告書を作り上げた方がよいのではないかと思っています。3つ目は第4分科会においては、6つの班に分けてそれぞれ討論していますが、他の班に対して発言したいことが結構あるのではないかと思っています。そういうことを第4分科会でまとめて、妥当なものがあれば大いにやったらいいのではないかなと思っています。以上3つの観点から、区の方、あるいは区民委員の方からかはわかりませんが、ご意見を頂きたい。以上です。

●（小宮）：ありがとうございました。これから皆さんと一緒に進めていくことができればよいと思っています。色々なご意見があると思いますが、先ほど申し上げたように、少々時間をいた

だいて考えていただき、後ほどまとめて議論したいと思いますのでよろしくお願いします。

- （小宮）：15分になりました。まだ全部お読みになっていない方もいらっしゃるかもしれませんが、先に進めたいと思います。よろしいでしょうか。後ほど、ご意見を伺います。次に、リーダー（世話人）の信任です。これまで第4分科会では中間発表会に向けて月に2回程、全体会議を開催してきました。しかし、これほど多くの方の意見を集約してまとめあげていくことは困難ですので、班長会を組織してまとめてきました。また、第4分科会として他の分科会との調整もあることから、中間発表会のWGとして私がリーダーをやらせていただき、石塚さんと遠藤さんにサブリーダーをお願いしました。当初皆さんと話し合った時には、世話人を選出することになっていましたが、第1分科会から第6分科会の足並みがそろっていないため、中間発表のためのリーダー、サブリーダーとして選出されました。第4分科会の皆さんには既にご理解されており、各分科会の足並みがそろった時点で、また、中間発表の成果を見て、再度、リーダー、サブリーダーについてはお話することになっていたと思います。その時期になったわけですが、中間発表については、アンケートを見ても、知人に色々聞いても第4分科会は非常によいと評価されています。私も同感です。ただ、まだ中間発表の段階であり、これからさらに中身に入っていかななくてはならないと思っています。また、先ほどご意見にもありましたが、これから第1分科会から第6分科会の調整を図ったうえで、区民会議全体としての提言としてまとめていかななくてはならないわけです。第4分科会としては、残り9回の分科会を通して形にしなくてはいけないという大変な作業が残っているわけですが、皆さんのご信任を頂ければ、引き続き私が世話人で、副世話人が石塚さんと遠藤さんをお願いして、また私達3人で一生懸命頑張っていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

<拍手>

- （芳賀）：人事のことで異を唱えるのは大変嫌なことで、特にご本人達の前で言うのは大変決断がいるのですが、率直に申し上げて、今、世話人がおっしゃいましたように、サブリーダーの選定については、パソコンを使うから、その能力に優れた人を私のパートナーとして選ばせて下さいということで選ばれた経緯があり、私達も納得したのですが、この後もこういうイメージでまとめるのですか。中間発表はまさに画像主体ということで、パソコンの達者な方を入れたことで、確かに画像は各班の中で一番出来栄がよかったと思いますし、そのことは率直に評価しますが、世話人となるとその分科会の代表として動いていくわけですが、私の理解では、いわゆる環境、みどり、資源、この3つのグループがこの第4分科会の骨組みのグループだと思います。そのグループから代表になっている方がいません。私が提言したいのは、今まで中間発表をやって下さった方には、本当にご苦労様だったと私も思います。その人達に異を唱えるのは大変本意ではないのではないのですが、これからこのグループの代表として骨格のグループからそれぞれ出して頂くのが筋なのではないかというのが私の提言であります。以上です。
- （小宮）：今のご意見で、皆様方ご意見の前に発言させていただきます。私が中間発表会のリーダーということで、サブリーダーを選ばせて頂いた時のことですが、私は中間発表

会のまとめのためだけに、パソコン操作をお願いしたわけではありません。第4分科会43人の方々の意見を伺い、班長会でそれをきちんとまとめていくためにはパソコンがないとダメだろうという意味でお願いしました。そして、これから第1から第6の世話人の方々が集まって、リーダーが各分科会の代表として提言に向けて話し合う際には、当然パソコンが必要になってくると思います。また、当時私たちは、他の分科会では世話人を選出できなかったため、足並みをそろえるために中間発表会に向けて、ということで選任されたと認識しております。

- （植木）：私はこのまま、リーダー、サブリーダーの方々には1分科会から6分科会すべてのまとめの打ち合わせをして頂いて、我々の分科会全体の話は各班長会が毎回ありますので、そちらとうまく整合していけばよいのではないかと思います。せっかくここまでやってきていただいた経緯もありますし、今まで通りの班長さん、リーダー、サブリーダーの方をお願いした方がよいと思いますが、どうでしょうか。
- （小宮）：他に意見はありませんか。
- （犬塚）：犬塚です。まずこういった意見が出てきたのは、中間発表という一つ場で、私達の形ある成果が一つ手に入ったということで、そこで始めて色々な考え方が出始めたからだろうと思っています。それはすごく大事な、中間発表の一つの成果だと思っています。合わせて、中間発表に向けての取り組みをして頂いた、リーダー、サブリーダーの方に改めて感謝申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。今、議論となっているリーダーの信任のことですけれども、パソコンの話、テクニカル、技の話で協議しているようですが、私としては技の話よりも、この中間発表までにせっかく他の分科会との議論の整合性とか調整ができたのに、人を変えてしまうのはブレーキになるのではないかと思います。このまま、先ほどお話にありましたように引き続きやっていく中で、他の分科会とのやりとりをしっかりと継続していただいた方がよいと思いますし、また、これまでやって頂いた方達に不都合があるとか、特に何か大きな理由があるなら別ですけれども、私は特に感じませんので、パソコンの事だけじゃなくて色々な取りまとめの話も含めてふさわしい方が担っていると私は思っています。それから、もう一つはリーダーや、サブリーダーの方達だけに任せるのではなくて、班長会議があり分科会がありますので私たちメンバー一人ひとりが応援するような形で第4分科会の集約をして頂き、他の分科会と調整して頂くような状況を、しっかりと作っていかばよいと思っています。結果としては今の体制のままやっていかばいいのではないかと思います。まとまりのない話で恐縮でした。
- （小宮）：どうもありがとうございました。他にご意見があればお願いします。
- （神野）：私も今、犬塚さんのおっしゃった考えに賛成です。その通りだと思います。芳賀さんのおっしゃったことで、一つ気になったことがあるのですが、第4分科会の骨組みとして、環境、みどり、資源のグループが主体とならざるをえないとおっしゃったのですが、第4分科会全体として一つのを生み出していくのだと思っていましたので、特にグループでどうのこうのということ意識したことはなかったです。少しそれは気になりました。
- （小宮）：他に意見がある方はどうぞ。
- （田中）：田中です。リーダーの信任ということなのですが、私は信任して続けて頂きたいと

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

ということと合わせて、私としてみると相当大的な問題でもありまして、リーダーの方々が多められたものに同意しがたい点がある。三つの市民、それからハード、ソフト、ハートというとても大きな点です。これはそういう意見が違うから信任しないということではありません。それから、信任したからなら何でもいいというわけではないですね。それは、十分ご承知の上運営されると思います。以上。

●（小宮）：他にございますか。もう意見はよろしいでしょうか。それではいかがいたしましょうか。

●（植木）：リーダーとサブリーダーを信任するか、しないかの決をとってみればいいのではないのでしょうか。

●（小宮）：よろしいですか。石塚さんと、遠藤さんと、私と3人が今まで通り、今度名前が変わりますが、第4分科会のリーダー及びサブリーダーになってもよろしいと思う方は、挙手いただけますか。

<賛成多数>

●（小宮）：では、人数が多いようなので、承認させていただきます。

そういうことでよろしいでしょうか。

<拍手>

●（遠藤）：サブリーダーの遠藤です。私は早稲田大学の学生で、新宿区には住んでおりませんが、新宿区民会議として第4分科会が多めれば良いと思っています。新宿区在学でもよいと思っています。頑張りますので応援して下さい。

<拍手>

●（石塚）：私も在勤者です。在住でないことは同じですけれども、在勤として20年間以上新宿区に通い続けていることもございまして、新宿区のことを全く知らないというわけではないと思いますし、想いは遠藤さんと同じですので、よろしくお願いいたします。

<拍手>

●（植木）：すみません、もう一ついいですか。今日ここに約1年前の区の広報にでた区民会議募集のお知らせがあります。これを見ますと、これに参加できる人は在勤在住国籍を問わずということです。後で、話しようと思いますが、何のために区民議会があるのか、分からないようでしたら、これをお貸ししますので見ていただきたいと思います。

●（小宮）：それでは、次に進めたいと思います。次は、第4分科会の進め方ということですが、すでに意見が出ていましたが、皆さんで話を進めていきたいと思っています。ここには班長会議の再確認と書いてありますが、前回の班長会議については皆様方のお手元にすでにあると思いますので、今日はやりません。お読みになって何かあればご意見頂くとということで、よろしくお願いいたします。それでは先ほど申しましたが、これから提言に向けて第4分科会全体の話として少し検討していこうと思いますけれども、まずはやり方・進め方があると思います。これは第4分科会の運営体制ということになります。これまで各班で検討したものを班長が多め、班長会議で第4分科会としてまとめていくという形を取ってきましたが、今後

もそのような体制がよろしいのではないかと思います。中間発表会では各分科会で発表の仕方が違ったり、書き方が違ったり、あるいは進め方、考え方が多少違ったりするものもあつたと思います。これからは、当然のことながら最終的な提言に向けて、統一した形でやっていかななくてはならないと思います。今後、検討すべき内容とか方向性とかも調整していくうえで不都合があれば、調整しながら進めていかななくてはならないと思います。時間もあまりないので、分科会での今後検討すべき内容とか方向性について、ご意見を頂きたいと思えます。遠藤さんが書記をして下さいますので、皆さんで共有しながらやっていきたいと思えます。よろしくお願ひします。

- （渡邊）：中間発表は世話人や皆さんの協力によって第4分科会としては、かなりの成果を取めたのではないかと色々ところから伺っております。これからの分科会としてのまとまりに向けて、班相互の交流と書いておりますけども、交流というよりは、班相互の色々な検討結果の摺り合わせということになるのではないのでしょうか。分科会の中での仕事もありますし、分科会と分科会の中の摺り合わせということも出てくると思うのです。それを世話人の方にすべてやっていただくのは大変だと思えますし、摺り合わせをして今度は映像ではなく、文章にまとめていく中で、得意な方、慣れていらっしゃる方がいると思えますので、先ほどご意見が出ましたけども、班長会にそういう方達に参加いただくか、あるいはどういう形にしてまとめていくか、そこら辺のことは皆さんで考えていけばいいのではないかと思います。今の体制で全部まとめていくというのはかなり大変だと思えます。
- （小宮）：私の言葉が足りないようで失礼しました。渡邊さんのご意見はその通りで、班長会議というのは、班長達だけが集まって協議するというわけではなくて、ご意見があればどなたでも参加していただくという前提でお話させて頂いています。ただ、全員が来てしまうと通常の分科会と同じになってしまいますのでそうはいかないですが、なるべく総意が伝わるようにしています。現在の班長会議はそういうものですので、ご理解頂きたい。
- （植木）：植木です。先ほどの広報紙にも書いてあるのですが、今回の募集の案内では、基本計画の見直しと、新しい基本計画と都市マスタープランの策定に取り組むために、召集されています。中間発表までに皆さん色々勉強や研究をされて発表されたのだと思えます。次はマスタープランに対する案を出さなくてはいけないので、各班で3月いっぱいぐらいの間に、このマスタープランに対してはこうだとか、基本構想、基本計画に対してはこうだとか、今ある現状に対して我々の提言、すなわち意見を、並べていかななくてはならない作業が必要だと思えます。おそらく3月、4月ぐらいにはそれを終わらせて、5月には全体でまとめて、6月に発表するという格好でないと、時間的に間に合わないと思えます。それで、今後進めていくにあたって、他分科会や他班との摺り合わせを班長会議、もしくは人数が足りないようであれば+αしていただいて運営していく。そういった格好がいいと思うのですがどうでしょうか。
- （小宮）：はい、ありがとうございます。
- （芳賀）：私は、現行の班長、世話人さんには今まで通りの仕事をやって頂いて、起草委員会、文章をまとめるチームを別のチームで作ることを提案します。今後班の意見を第4分科会として、一つの統一の取れた文章にするのに大変な時間と労力があると思うのです。十分作れ

ないということがあってはいけないと。ですから、班長会議とは別のチームを立ち上げて、その人たちに委ねるという考え方を取ってもいいのではないかと思います。横の連絡という面では、私は環境（と美化）にいますけども、みどりにも関心があり、リサイクルにも関心があり、なかなか発言する場もございませんでしたけど、やはり全体を見た時にそういう所もバランスというか、整合性が取れた分科会としての提言をまとめていくためには、そういうチームが時間をかけて各班との連絡を取りながらやる必要があるのではないかと思います。ですから、班長に負担をかけるのではなくて、そういうチームを立ち上げることを提案致します。

- （小宮）：他に何かご意見はないでしょうか。
- （犬塚）：早速ですけども、今の起草委員会というのに対して気になる点があるということをおっしゃって頂きます。まずは技術的に見て大丈夫かということが非常に気になります。と言いますのは、今まで何ヶ月間もずっとやってきているのですけども、その中で一生懸命揉んで、それなりに議論し合っただけでここまで作り上げてきて、中間発表までもってきたのだと思います。それまで班長会議を中心にやっていると理解していますけれども、まったく新たに起草委員会を起した場合には、また、一からやらなくてはいけないということになると、先ほど、植木さんがおっしゃいましたけども、時間ばかりかかってしまうのではないかと思います。芳賀さんもおっしゃいましたように、これから時間が非常にかかるという中で、一から新たにやり直すのは少し気になります。
- （芳賀）：言葉不足だったので、補足を致します。私のところのチームは10人からおりますから、班長に班長の仕事をやらせてもらって、誰かにやらせてもらうということの問題ないのですけども、人数が少ないチームもあります。私が言いたかったのは、各班から代表が出なくてはなりませんけども、その代表の方はチームによっては班長さんが兼ねるといのは何の問題もないわけで、全部を班長に任せるというのではなくて、基本的に起草という仕事をする別のチームも作るということをおっしゃっていただけます。
- （小宮）：はい、わかりました。では、山田さん。
- （山田）：みどりの山田です。発表の方式なのですけれども、そのことの前にもみどりの場合には、他班の方で色々意見を出したい人は何人かいるでしょうが、それ以外にも他の分科会からもみどりのことに関して、私どものところへ話をしたいと来た方がいらっしやいまして、特にみどりというものはまち美化に関係するものですが、他の分科会にも非常に関連のある内容がたくさんあります。今日のアンケート結果を読んでも、いくつも重なっておりますので、各班の中のダブっているところとつりあいと一緒に、よその分科会ともそういうことをして整理しておかないと、同じようなものをそれぞれが発表することとなりますので、テーマを絞らなくてはならないと思っています。もう5月になるとまとめに入らないといけませんから、その前にそういうことをやっておかないと、時間がすぐなくなってしまうと思います。そういう全体の発表の方式についても、世話人会の方でまとめ下さると思いますけど、それを早く作ってもらって、それでそれを基に各分科会それぞれこういう方針でいくというものを作らなくてはならないと思います。そういうことで時間的に非常に切迫していますけれども、早く全体のスケジュールを出してもらいたいと思います。それから、芳賀さ

んが起草委員会の話をしておりましたけど、班によっては人数が少ないところもあります。欠席する方も沢山いらっしゃいます。私達の班も13人で一番多い班ですが、常時出席できそうな人は8人くらいしかいません。それでも、その時その時で異なります。ですから、班員が多い班でもさらに起草委員を選出するのは困難です。そういうことがありますから、わざわざ起草委員会を作らなくても、小宮さんから話があったように、ご意見のある方は班長会議に出席してもらって自分の意見を述べてもらえばいいことですから、そういう方に参加してもらえばよいかと思います。あんまり色々なグループを作ってしまうと横の連絡が難しくなりますから、今の班長会を補強するというというか、少し人数を増やしてその中でやっていけば良いと思います。私はそういう意見です。

- （中上）：今までの発言に関連するので、2つばかり。先ほど植木さんがおっしゃっていましたが、6月に出したものを基に、基本計画や基本構想を作りますと。そのために区民会議を作り、提言願いますと、確かに去年の広報に書いてあります。だから、我々は6月に一番よい報告書を作ってもものを出せばよいと。後は区の方できちんとやりますと。そういうことですか。わかりました。それから第二点は、起草委員会のことですが、私は新しく作るというのではなくて、今までお作りになったものを土台にして起草委員が何名かわかりませんが、そういう人が入って、今の状況としてはこういう風にした方がいいんじゃないとか、あるいは他の分科会がこうだから、我々も若干軌道修正をしようという格好で行って、既存の組織よりもよいものを作ればよいのではないかと思います。
- （小宮）：他に意見がありましたら、どうぞ。
- （犬塚）：犬塚です。冒頭に中上さんが問題提起というか、ご意見述べられた部分は大変重要なことだと改めて感じておまして、山田さんのお話ともかぶるのですが、この後、後半戦にどういう勝負をするかという話をする時に、中間発表でそれぞれ分科会が何を考えているかだいたい分かってきたわけです。分かってきたからこのような話になっているのですが、その時に全体として、区民会議として6月にどのような基本構想、基本計画の提言、いわゆるたたき台ですよ、これをスケルトンという言い方をしますけども、大枠の組み立てを明らかにした方がいいかなと思います。と言いますのも、今は下から積み上げてきているわけですが、みんなそれぞれ思いがあるからベクトルがそれぞれ違うわけです。このままですとみんな拡散してしまうような状態になる可能性もありますので、私としてはまずは区民会議の基本構想、基本計画はどういうスタイルでどういう組み立てでやっていくのかというスケルトンを早めに出して、それに向けて残っている力を注ぐというのがいいだろうと思います。さて、その時に我が第4分科会はどうなのかという話なのですが、中間発表を見ますと各チームですでに素材ができています。この素材に関してはまだ練りが足りないとか、まだ不十分だというような感想なり、印象なりをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、私は十分よい素材が出ていると思います。私は第4分科会のまとまった政策、構想の提案として収斂していく作業に移るのだろうと思っています。その時に、細かい話になりますけれども、例えば第4分科会の中間発表を見ていただくと、4の29ページのスライドが2枚ありますけれども、下の方のスライド「目的とサブテーマ」というスライドがあります。目的とサブテーマ。これは私の経験で申し上げますとこれは政策の体系に近いものだろうと思

います。環境というこの分野において、第4分科会はこのような目標とこのような政策の柱立てで考えることができます。例えば、これを軸にしてそれぞれの政策を整理整頓していく、という作業に入れるのではないかと思います。そういう風に考えた時に、起草委員会の話があります。私は、起草委員会というものを他のところで経験したことがあります。確かに起草委員会が有効に働くケースもありますが、ただ私達第4分科会に限って言えば、今この時点で起草委員会を起すよりは、色々な人が出てもいい班長会議を中心に、各班のメンバーがしっかりともう一回自分達の出した材料を見直して、それで我々自身はこれでいこうということを文章化したものを班長会議に上げながら、お互い揉み合って整理整頓していけば、芳賀さん、中上さんがご提案されている起草委員会と同等の仕事ができるのではないかと思います。自分の経験から申し上げます。この件に関しては、以上です。

- （渡辺）：今の犬塚さんのスケルトンという考えにまったく賛成です。早い時期に世話人会で区民会議全体としてどうまとめていくか決めて欲しいと思います。そして、第4分科会としてまとめていくための組織ですけれども、先ほどリーダーの信任というのはあったのですが、班長の信任がないのですが。もしも信任していただけるなら、今までの検討の継続性という視点から、班長プラスそういうことへのご意見をお持ちの方、あるいは文章などまとめるのが得意な方、そういった方に入っていていただいて班長会を拡大して進めていくのが効率的かと思えます。
- （小宮）：はい、ありがとうございます。他に何かございますか。まだ時間はあるようですが、どうぞ。
- （佐藤）：私は皆さんと意見が違いますが、中間発表は非常によくまとまっていた。本当によかったと思います。私は、21世紀、この新しい世の中で、あと10年先、どうなるかということは私も想像つきません。しかし、通念でこうあったらいいというのが、中間発表だったと私は見えています。それで、これから10年以上考えたときに、通念でよいのだろうかと思っています。どういう風に表現すればいいかわかりませんが、たとえば、例を挙げますと、私が前から言っています「拡大生産者責任」、これは、まだ私の頭の中では議員も、それから職員の方も、拡大生産者責任というものがどうあるべきなのかということが分かっていないと思います。それからもう一つ、観点を変えますと、今、ビオトープとか自然ということが中間発表でも出ましたが、これでいいのか。私は、もう一歩進んで考えることが必要なのではないかと考えております。もちろん、まとめることはいいことですが、その中で、どうしてもこれだけはやりたいということは、私も一つ二つ持っていますのでそういうことを提案していきたい。それは第4分科会だけではなく区民会議としてその問題をどうまとめていくかということ、10年後の我々の理想社会を創るために今の歩みでいいのか。私はそうではないと思います。起草委員会などの案も出ているので、これからうまく6月にまとめればよいという考え方から、もう一歩先に出たいと思っています。
- （小宮）：ありがとうございました、他にいらっしゃいますか。はい、遠藤さん。
- （犬塚）：佐藤さんのおっしゃっていることは私たちも、もう一度見つめなおす必要があると思ってる発言です。どうしてもスケジュールに追われてどうまとめるかということに目が行きがちですが、これはこれで宿題を果たすということも重要なのです。その中でもうひと踏

ん張り、佐藤さんのおっしゃっている「もう一歩」私たちが分かち合って、一歩突き抜ける努力を忘れてはいけないと思っています。そのためにも、限られたスケジュールの中でどこまでがんばれるのかということと、どうがんばればいいのかということ。そのためにみんなが力を合わせて第4分科会として一本筋のある提言をしていくための運営の体制、進め方について、うやむやにしていると、また、同じような話が繰り返し出てくると思うので、とことんここはしっかりとお互いに考えてることを出し合って、了解できることからひとつずつ詰めていくというスタイルがよいと思います。以上です。

- （遠藤）：班長会議のまとめが自分の意見と違うと思っている方は班長会議に来ていただいて、そこで議論していただければいいと思います。何か違うと思ったことは班長会議で話す。そして、全体のことはここで話す、としていけばいいものができるのではないかと思います。
- （渡辺）：いろいろご意見が出たようですので、ここで運営体制についてまとめてはいかがでしょうか。それから、まとめ方については、世話人会の中でどうまとめていくか考えが出てくると思いますが、第4分科会としてはこういうまとめ方がいいのではないかとということも、時間がありましたら、出してみてもどうでしょうか。
- （植木）：先ほどから何件かあったのですが、他の班や全体に自分の意見を通す場合には会の前日まででしたか、確か提案カードを出してもらうルールになっていると思いますので、自分の意見を他の班や全体に言えないということはないと思います。それから、4つの原則と8つのルールを、皆さん忘れてきているようですので、次からこれを入りに張っていただいて、それを読んでから会議に臨むというのはどうでしょうか。
- （嘉藤）：班長をずっとやっていますが、班長会議で、自分とは違う意見の班の方の意見は言いづらいのです。そこで、自信がなかったので神野さんをお願いをして、私たち教育の班では複数で班長会議に出るようにしています。一人で班長会議に出ている方はまとめるのが本当に大変だと思います。起草委員会を作って、班から複数出していただいて、班長と話し合っていて進めていくのがよいのではないかと思います。起草委員会を作って、班長がそれを兼ねてしまうと、今でさえ月に3・4日縛られるのに、これ以上時間を割くのは大変なことだと思います。以上です。
- （小宮）：ありがとうございます。他にご意見ありますか。それでは、今、渡辺さんからもお話がありましたが、現在も班長会議には班から可能な限り出ていただいて協議していますので、同様の体制で班長会議を続けていくということで、いかがでしょうか。
＜拍手＞
- （小宮）：反対の方はいらっしゃいますか。ご意見ありましたらお願いします。
- （中上）：私は中間発表の皆様のご苦労はわかっています。その結果がこの前の発表で、上出来だと思います。これからは本報告を6つの班がバランスよくやることが大事だと思います。私は何も既存の組織を壊せというのではなく、今の組織を使いながら、文章を書くことが上手い人に入っていて、報告書を作ればよいのではないかと思います。
- （小宮）：先ほど、犬塚さんからお話のありました、「目的とサブテーマ」についてですが、今日また改めて皆さんともう一度見直しましたが、班ごとにばらばらではないかという意見

がありますが、目的と方向性のところはままとまっていると思います。資料の29ページの所はこのまま提言にできる部分であると思っています。

これからの6つの班の動き方は、たとえば温暖化チームであっても、温暖化チームの話だけではなく、第4分科会全体の中で温暖化をどう進めるか、ということになってくると思います。ただ、あと3ヶ月位でまとめなくてはならないので、一人ひとりが全テーマを横並びに見ながらやることは無理ではないでしょうか。いろいろなことに詳しい方は、ある程度それらを関連付けてできるかもしれません。それは人によって違うかもしれません。しかし、大切なことは、温暖化だから温暖化だけではなく、今度は横との繋がりについても少し考えながら、進めていくことではないかと考えています。

もう少し言わせていただくと、どうして起草委員会を作らなくてはいけないのかという感じですか。班長の集まりがあって、それで意見のある方にはぜひ来てくださいということで班長会議を進めています。これからは自分たちの班のことだけではなく、大変ですけども、分科会全体のこと、つまり提言について考えていこうとしている時に、どうして別に起草委員会というものを作ろうと言うのかわかりません。

- （中上）：今の中間発表会の報告が本報告になるなら、私はかまわない。ところがこれから他の分科会との協議が必要となり修正を加えていくなれば、今のメンバーのままでは基本的に同じものになる。そこで、若干の人に入っていて、いろいろな観点から作り上げたらさらによいものができるのではないかと考えています。
- （植木）：4つの原則の一番上に、合意に向けて議論していくとあります。皆さんに合意してもらえれば、今の班長会議を起草委員会という名前に変えて運営してはいかがでしょうか。
- （犬塚）：これから我々第4分科会は班長会議を立てながら、皆がきちんと努力して第4分科会としてのまとめに入っていく、ということが先ほど確認されたと思います。これからまとめに入っていくと、いろいろな考え方があると思います。それをもちろん一つひとつきちんと審議することが大事ですが、時間にも限りがあり、どこかで折り合いをつけなければならぬと思います。環境NGOや国際会議でよく用いられている方法として、様々な意見が出て収拾つかないときには、合意できたものから文章にしていくという方法があります。そして、合意できなかったものについては少数意見として付記していく、といった形で記録をきちんと残していく。という方法があります。こういった整理の仕方もありますということで、一つご紹介したいと思います。以上です。
- （小宮）：ありがとうございました。色々なご意見をいただきましたが、今までどおり現在の班長を中心として進めていくということで、よろしいでしょうか。
＜拍手＞
- （小宮）：スケジュールですが、6月に向けてですが。
- （神野）：すみません。一つ。これだけ議論が盛り上がったので、できれば合意形成をしておく必要があると思います。メインテーマとサブテーマについても、きちんと、確認しておいた方が、運営体制として動いていく中でも一番必要なことと感じます。いろいろなご意見をお持ちの方がいるので、（そうした齟齬のある部分を解消し）一つ固めることができれば、進みやすくなりますので、ここで一度確認すべきだと思います。

- （小宮）：はい。本当に大切なことだと思います。今後の話を考えた時に方向性が決まらな
いと、なかなかうまく行かないと思います。目的とサブテーマについて、ご意見ございました
ら、どうぞ。
- （芳賀）：中間発表をここで承認しろということであるならば、反対です。中間発表はこうい
う場で十分議論を尽くしたものと認識していません。私は意見を何回か出してあります。
だけど、少数意見のようですけども、環境については、もっと深刻に問題提議している人た
ちもいるわけです。そんなときにハード、ソフト、ハートのバランスを目指すというのが班
長会議で決定した、その時に、私はいかながなものかと問題提議をしました。今回も、やっぱ
りあれでいいのですか。ということをもっと時間をかけて議論して欲しいと願っている。私
たちはこの場で、21世紀は環境重視社会であるべきだとか、そういった基本方針にかかわ
るようなことをいつも申し上げています。そして、これは前回も言ったつもりですが、新宿
区は10年前に環境都市宣言をしています。それにもかかわらず、新宿区の環境は残念ながら
年々悪化しているという現実が一方にはあります。そういう中で環境都市宣言をして何をや
ったのか、環境都市宣言をしていない他の年と比べて何が違うのか、環境都市宣言にふさわ
しいことをしてきたのか、という問題提議もこの場ではしておりました。新宿区の環境とい
うのは年々悪化している。だから何とかして10年後とか20年後によくしたいという意欲を
我々のまとめの中に入れていたいという想いを持っている時に、ハード、ソフト、ハートのバラ
ンスの取れた都市を目指すとは。先に私が言ったように21世紀は環境重視だ、とか環境都市
宣言にふさわしい環境行政を、といった表現がないことに不満を持っておりまして、これか
ら班長会議でやろうというなら、そういう場でもっと練って欲しいと思っていました。しか
し、今この場で、あれを承認しろといわれても、変えようがないじゃないですか、議論でき
ない。そういう意味で、ここで中間発表を承認しろ、ということには私は反対です。
- （小宮）：他にご意見ありますか。はい。
- （佐々木）：私もこの緑のグループにいさせてもらって、20年後というのは分からないと思
いました。現在当面している課題を考えた際に、色々な意見がありまして、それをどうし
ようかということのを班の中でこれから煮詰めていきたいと思ます。
- （嘉藤）：芳賀さんの具体的な提案に、なるほどと共感する部分がたくさんあります。環境と
まち美化班の資料を一つずつ読ませていただきました。本当にこのとおりだと思ました。
それに対して、対策やそうでない意見も全部盛り込まれていて、分かりやすかったです。こ
ういったご意見を持っている方も、まとめて一つのものにまとめて行きたい。こうい
うご意見を班長会議に持ち寄って、どうするのかということのを皆さんのものにしていける
会議であって欲しいと思ます。確かにこの提案は私には分かりやすかったです。
- （芳賀）：この機会だから、ということだからもう一つ言わせてもらいます。私は他の分科会
とうちの分科会とのまとめ方の一番の違いは、他の分科会は「こういう現状認識の上でこ
ういう問題提議をする」とありましたが、我々は、こういうステップを踏んでやってきたわ
けですが、私たちのまとめには現状認識という概念は感じられませんでした。そうまと
めて欲しい。前回の話を蒸し返すようで恐縮ですが、私の意見に対しては、中間発表が
終わってからそのことは話してくれ、ということであった。だから、中間発表が終わ
ったら、ま

とめの方向で議論して、あの中間発表のトーン、まとめ方で本当にいいのか。もう一度言いますが、環境については、ここが責任もって区に言わなければならない。子育ての分科会は、子育てが新宿区で一番大事な行政だということを一生懸命訴えている。介護の話もそうです。そういう意味でいうと、環境というのは一番リストラされやすい。あるいは選挙でいえば票になりにくい。新宿区の環境、清掃にかかわる予算は、決して環境都市宣言にふさわしいような予算ではありません。そういう中で、子育て、介護、街づくりと比べて、環境も手を抜いてはいけないのだという主張がきちんと出ているものにして欲しい。

- （板本）：今の芳賀さんのご意見ですが、「して欲しい」ではなくて、芳賀さん、「一緒にしましょう」。いかがでしょうか。
- （犬塚）：芳賀さんの問題意識のお話については、他の方も大きな異論はないだろうと私も理解しています。ただ、バランスの取れた環境都市というのが、自分の問題意識につながらないところ、分からないのももう少し色々な話をしたいです。バランスの取れたということは決して悪いことではなくて、思いを達成するにはきちんとした技術も必要だし、裏付けも必要で、仕組みも必要です。そういった経験知から、ハートとハードとソフトがきちんと連結しあって力を発揮していこう、バランスとはそういう意味だと思います。ただし、言葉の解釈はいくつか幅がありますので、ここはとことん論議を尽くしておくべきかと思えます。

二つ目の話ですが、現状をよく掘り下げて、区の行政を総括して、課題を掘り起こしてやっ払いこうという話もよくわかります。これも私たちの問題を組み立てていくところのスタートラインになると思います。しかし、私の考え方は違います。物事を組み立てていくには二つの方法があります。現状から将来を見る、そのときにこういった問題があるからこういう対策をしていこう、という「フォアキャストリング」と、将来こうありたいという姿を作り、そのためにどうすればよいのかと考える「バックキャストリング」というものがあります。二通りの発想の仕方があるわけです。芳賀さんの問題提議の二つ目の話は、我々はフォアキャストリングで行くのか、バックキャストリングで行くのか、という話になるかと思えます。それぞれ、特徴がありますのでどちらがいいとはいえませんが。私たち温暖化チームに限って言えば、バックキャストリングで考えました。20年後の未来はこうありたい、という未来の夢を描いて、そのためにはどうすればよいかということを考えました。他のチームには他のチームのやり方がありますとは思いますが、ここでそのあたりをもう一度、整理整頓していく時期に来ているのではないかと思います。

- （吉川）：もう 8:30 です。何時になったらやめるかはっきり言って下さい。今日は今日だけじめをつけて下さい。
- （小宮）：こういったお話は前から何回も出ていまして、ルールですから守りましょう。今日はいい議論になっていますが、時間があまりないですね。今日色々な意見が出て、若干まとまりがつかなかったところもあると思いますが、今回の議論はここで止めましょう。

3. 連絡事項

- （小宮）：それでは連絡事項です。3月3日の班長会議では、本日のような議論も行いたいと

新宿区民会議＜第4分科会会議録＞

考えていますので、ぜひご都合をつけてお越しください。会議室も広いので大丈夫だと思います。よろしくお願ひします。何か他にありますか。ないようでしたら、事務局に代わりま
す。

(1) 次回以降の会議日程

第18回 3月10日(金) 18:30~20:30 区役所第一分庁舎7階研修室

第19回 3月25日(金) 13:30~15:30 区役所第一分庁舎7階研修室

(2) 次回班長会議日程

3月3日(金) 18:00~21:00 区役所6階 会議室

○(熊沢): 皆さん、どうもお疲れ様でした。すごく熱の入ったいい議論ができていると思いま
した。第4分科会のリーダーについてご承認いただきましたが、世話人会が3月10日13:00
~16:00にありますので、小宮さん、よろしくお願ひします。先ほどお話がありましたが、
次回班長会は3月3日ですので、ご意見のある方はぜひご参加ください。以上ですが、何か
お知らせや連絡事項ある方は、どうぞ。

●(芳賀): 明日、卯月先生がシンポジウムで講演して下さいます。まちづくりとまち美化をつ
なげた話は道の問題ですねということで、道についてご講演いただきます。また、マリンバ
の演奏会も兼ねています。ぜひご来場ください。

4. 閉会

●(小宮) それでは終わりたいと思います。ありがとうございました。